

会議録

日 時	令和3年5月19日(水)から令和3年5月28日(金)
会 場	書面開催
出席委員	本橋委員長、櫻井委員、山口委員、古木委員、橋本委員、中田委員、濱本委員、前田委員、藤崎委員、中畑委員
欠席委員	—
市出席者	—

1 令和3年度社会教育担当事業計画についてのご意見、ご質問

(1)

1. 学校支援地域本部事業 p2

ボランティア登録数が増えているがその活動の場を含め学校ニーズとのマッチング度合いはどうなのでしょう？また、効果的な協力体制が生徒たちにとってもよいことになると思います。

2. 家庭教育支援事業 p4

R3 事業計画に公民館学びカフェを新たに実施とあるが、具体的内容はどのようなものですか？

3. 生涯学習市民活動団体支援事業 p10

R2→R3 予算が60%減になっているのはコロナ感染の影響でしょうか？

また、課題と方向性に記載されている通り、対象事業についても制度改正検討と並行してきっちり議論する時期に来ていると思います。

4. 元気フェスティバル p12.13

課題と方向性に記載ある「イベントの魅力増進」を議論しましょう・・・”魅力”は、参加団体にとっても来場される市民にとっても欠かせないものであります。年度ごとの統一テーマ（未来に継承すること・もの、時流を反映することも大切）を決めての運営や、市内農商工商品などのPRの場も兼ねることができるよう行事にしていくことも今後は必要ではないでしょうか？R元年は何故15団体も増えたのでしょうか？

5. 中央公民館活動推進事業 p23

R3 事業計画の中で北海学園大学との連携事業とありますが、どのような内容を検討されていますか？また、当該大学連携による企画課主催の特別講座とはどのような係わりがありますか？

6. 社会教育委員 p38

課題と方向性に記載されている「現地の視察研修を兼ねた会議開催」とはどのようなイメージでしょうか？また、この件についてはこれまでも記載されていましたが、そろそろアイデアなどを収集してみてもどうでしょうか？石狩管内社会教育連携事業のようなそれぞれの地域資源に関する知見を広げ深める交流会など計画してみてもどうでしょうか？

7. 社会教育関係団体 p40

登録団体数が減少傾向にあります。その主たる要因はなんのでしょうか？また、ジャンルを見るに、自然観察系、文学系、社会科学系等の団体が増えると厚みが出てくるように思うのですが・・・登録団体の見直しを総合的にしてみてもどうでしょうか？

(2) P1. 学校支援地域本部事業、P2. 放課後子供教室事業の課題と方向性について放課

後子供教室は学校の理解・協力を得て運営できている。地域学校協働活動として学校支援地域本部と連携を深めることが内容の充実に繋がると考えます。

(3) コロナの影響でR2年度に中止となった事業分の交付金は次年度の同一の事業へ持ち越すという理解で良いのでしょうか？

(4) これからの社会、時代を担う子供たちの成長を見守り、支えていくことが重要で

会議録

す。

そのためには、地域と学校がともに連携して、持続可能な社会の実現に学校を核とした地域づくりを推進する体制の整備が求められます。「市民によく理解をしていただくことが必要です。」

(5) あらためて、資料を拝読させていただきましたが、守備範囲が多岐にわたり諸活動

の内容、共通部分と異なる部分等の精査の必要性があるのではと感じました。それぞれ、何が共通で何が異なるのか等分析し、集中する。なお一層より良い効果がうまれるのではと感じます。

(6) どの事業も市の施策に則り、計画的に進められていると感じました。

(7) 成人式について、2度延期になっているが、この状況下で花ホールでできるのか？ いっそのこと札幌のようにオンライン配信にはできないか？ または屋外（キャンプ場使用など北広島市独自の新しい成人式の実施はどうか？）も考えるべきでは？ 時期の検討も。元気フェスティバルの参加者数、来場者数の減少が著しい。BP にかためた企画や出店者（市内外の飲食店など）の誘致、宣伝方法など工夫していかなければならないと思います。コロナ禍で中止になった事業の予算はどうなるのでしょうか。

(8) 本年度は、方向性が決まりながらも何年か進展の見られない事業について実現できる方法を実行していただきたい。

【回答】

(1)

1 必ずしも登録していただいているボランティアの方が、学校へ派遣されているわけではありませんが、学校からの依頼には応えられている状況です。引き続き学校のニーズに応えられるよう連携してまいります。

2 中央公民館の特定の部屋を月に1日、乳幼児から小学校低学年とその保護者に無料で開放し、子育てに関する団体に講師として入っていただき、保護者が子育ての悩み等を気軽に相談できる場を目指します。このことにより子どもの安全な遊び場と保護者間の交流を目的とする事業です。

3 おっしゃるとおり、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和3年度は事業やイベント等の開催が見込まれないことによります。

現在、生涯学習市民活動団体支援事業補助金の制度を見直しております。改めて、社会教育委員の皆さまのご意見を伺わせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 もともと元気フェスティバルが市民活動の発表の場ということを本誌としておりますことから、いただいた意見を基に、実行委員会の中で検討してまいります。また、R元年度の参加団体の増加は、関係各所への声かけ等の積極的な参加募集活動によるものです。

5 平成30年度と令和元年度に実施した、「きたひろ学」を指します。新型コロナウイルスの影響で中止しておりますが、令和元年度からは年1回、各地区で実施する予定でありました。

6 先進的な社会教育委員の活動や公民館事業、社会教育施設について先進地視察を行う意味合いで記載しております。

7 会員の高齢化による団体の解散、高齢者団体に分類され同じく施設使用料減免の恩恵が受けられるため、社会教育関係団体の登録をしない。などが要因だと考えます。令和4年度が社会教育関係団体の更新の年となっていることから、見直しを検討してまいります。

(2) 学校支援地域本部事業及び放課後子供教室事業については、一体として地域学校共同活動とすることを検討してまいります。

(3) コロナの影響で使わなかった予算については、使わないことが確定した時点または

年度末に、市全体の予算に返還するため、翌年度に繰り越すことはありません。

会議録

- (4) 市民に広く理解していただくよう努めます。
- (5) 事業を実施することを目的とせず、それによる効果や参加者からの声を基に反省と改善を意識し進めてまいります。
- (6) 引き続き、計画的に進めてまいります。

- (7) 令和3年1月に開催を予定していた成人式につきましては、現在、開催時期や場所、方法を検討しているところであります。開催時期の状況を踏まえながら、成人の皆さまが安心して参加できるよう判断して参りたいと思います。
また、予算につきましては、使わないことが確定した時点または年度末に、市全体の予算に返還するため、翌年度へ繰り越すことはありません。
- (8) 懸案事項を解決できるよう検討を進めてまいります。

2 令和3年度生涯学習市民活動団体支援事業補助金の交付審査についてのご意見、ご質問

(1) 団体承認します。しかし、当該支援事業については、総合的に見直しをする時期に来ているのではないのでしょうか？団体が偏っているのもどうかと思いますし、支援金額上限が30万円である必要性があるのか、例えば、10万円にしてより多くの団体に活動をしてもらうようにした方が”活性化”にもつながるのでは？また、過去のエントリー団体の継続性がないのもどうなのでしょう？

(2) 生涯学習振興会や青少年健全育成連絡協議会の予算について、交付金補助金の増額を望みます。

(3) 今年度の交付団体・補助額は、申請のあった2団体が適切と考えます。

(4) 1、中山久蔵の足跡を辿って(続編)の発刊について(承認します)

【理由】先人が築いてくれた、寒地稲作の祖、チャレンジ精神、自己改革、行動は郷土の誇りと大切な財産です。

2、DABオールスターズ第20回記念コンサートについて(承認します)

【理由】新型コロナウイルス感染症対策、収束が見えてこない状況ですが、申請書を今回の目的、実施による効果等を勘定して。

(5) 「過去3年間連続して補助金の交付をうけていない・・・」の表現等、多くの皆さんにチャンスを与える意味で良いと思います。

(6) 市の生涯学習を推進するためにどの事業もしっかりと予算立てをして申請していると思います。

(7) 良いと思います。

(8) 例年同じ団体の活用が多い印象がある。うまく補助金を活用して事業に利用してくれることは悪いことではないが、このような補助金の存在が広く周知されているのかが分かりづらい。

【回答】

(1) おっしゃるとおり、一部の団体に交付され続けていること、交付する額の上限の適性さ等、この補助金の目的や意義を再度認識する時期にきていることから、現在、制度を総合的に見直しております。改めて、社会教育委員の皆さまのご意見を伺わせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。また、交付する条件に、3年間連続して補助金の交付を受けられないとしていることから、継続性がないことが考えられます。

(8) おっしゃるとおり、一部の団体に交付され続けていることから、この補助金の目的や意義を改めて定義し、より多くの団体の方が活用できるよう、制度の見直しと合わせて、周知の方法につきましても、検討して参ります。

会議録

3 学校支援地域本部についてのご意見、ご質問

- (1) コロナ感染の中、大変でしょうが着実に進めていってください
- (2) 各学校によって活動内容は異なるのですが、ボランティア募集について必要な人員が確保できているのでしょうか？また幅広く知っていただく為に学校やCS側からの発信だけではなく市の「広報北広島」を活用する事は可能ですか。
- (3) P5～P8. バラエティに富んだメニューが用意されているので殆どの参加者はいずれかのメニューに関心を示す事ができるよう感じた。
- (4) 毎年実施される「福祉パネル展」にて東部小学校1年生による昔遊び小さな1枚の写真「世代を越えた交流は貴重だね」という声をいただきました。それぞれの活動を市民に紹介して活動の裾野を広げることができました。
- (5) 地域の教育力を活用した教育活動の推進、子供達も地域と共に成長する取り組み素晴らしいと感じます。お世話になった川向先生のコーディネーターとしての活動を適任と感じます。
- (6) 各学校の実態に応じた様々な学習支援を計画的に行っていると思います。
- (7) 令和3年度からGIGAスクール構想が始動しました。現在ICTの活用は担任の先生に委ねられている状態です。(GIGAスクールサポーターもいらっしゃると思いますが)学校教育だけでなく社会教育(学校支援地域本部事業)からもICTに詳しい方を派遣したりできると思います。検討をお願いします。
- (8) 事業の内容や実施の状況は学校の子供達達の保護者や学校関係者は認知していると思うがもっと広く市民全体に知ってもらう方策も考えてはどうか。

【回答】

- (1) 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、学校と連携しながら事業を進めてまいります。
- (2) ボランティアにつきましては、必要な人員を確保できている状況です。また、広報北広島の活用については検討してまいります。
- (3) 引き続き充実した学校教育活動への協力を行ってまいります。
- (4) 毎月広報紙学校支援を発行し、ホームページに掲載しているところです。
- (5) 今年度から川向コーディネーターと連携し、事業を進めてまいります。
- (6) 引き続き学校の実態に応じて支援を継続いたします。
- (7) 学校支援地域本部事業は現在、学校からの依頼に応じてボランティアを派遣する事業を行っています。他市町村の状況等を踏まえ、今後の派遣方法等について検討してまいります。
- (8) 現在、ホームページにおいて活動内容を掲載しているところですが、今後の周知活動については検討いたします。

4 放課後子供教室事業についてのご意見、ご質問

- (1) p15(英語58%) p17(英語18%) アンケート集約結果の違いをどうお考えでしょうか？英語については益々必要性が高まってきていると思います。保護者と児童の思いが逆ですね。
- (2) 放課後子供教室の導入に至った経緯はわからないのですが大曲小、双葉小、東部小以外での実施予定は今後あるのでしょうか。
- (3) 事業の趣旨を考えると、市内全小学校での実施を目指していくことが必要と思います。学校支援地域本部ボランティアに講師を依頼することや実施回数を減らすこと等、工夫し実施校を増やすことを検討すべきと考えます。
- (4) 児童にとって・放課後の居場所の1つ・誰でも気軽に参加できる・学校施設を活用する(基礎的な学力、体力等の向上を図る)ことを趣旨として現在、大曲、双葉、東部

会議録

小学校の3校が実施されております。保護者アンケート集約を見てもほとんどの方が参加させてよかったと感じておられるようですが、学習は週1回、下校完了まで60分実質50分位では少し少ないのではと思います。

保護者アンケートから意外だったのは、学習の回数もう少し少なくてもよい、家庭で体験できないことに増やしてほしい。

(5) 昨今の社会状況をかんがみると、母子・父子家庭、ご両親ともに仕事をされている

家庭等が多く成っているようにも感じます。そのような中で、子供の健全な成長のために子供の「居場所」づくり、大切な事業と考えます。

(6) 放課後の子どもに学力や体力の向上のために工夫した活動をし、アンケートからも高い評価が得られていると感じました。

(7) コロナで授業で家庭科調理実習ができていない。できる時期（コロナ感染収まって

いる時）に調理実習があるとよい（少人数だからこそやりやすいのでは？）なかなか授業で進まないプログラミング学習なども取り込まれたらよいと思う。全小学校で取り組むことは難しいのでしょうか？

(8) 以前から早く市内全域の小学校で実施されることを思っているが、まだ実施されていない小学校での計画はあるのか？実施するために必要な条件等はあるのか？あれば教示していただきたい。

【回答】

(1) アンケート上では児童が1つしか回答していないケースが多かったことから、このような結果になっていると考えております。実際には、児童からも英語は人気が高い状況にあります。今後のアンケートの精度を高めるため、内容について検討いたします。

(2) 今後市内全域での開催を検討しております。

(3) 開催期間やボランティア講師の確保等についても引き続き検討してまいります。

(4) 冬期間の帰宅時間や学童クラブの関係から、週1回1時間で実施をしているところで。内容や、実施時間につきましては、今後の講師の確保等を踏まえ、検討してまいります。

(5) 引き続き、安心安全な居場所づくりを進めてまいります。

(6) 児童、保護者がさらに安心、満足できる活動を続けてまいります。

(7) 放課後子供教室は放課後の子供の安全安心な居場所づくりとともに基礎的な学力・体力等の向上を図ることを目的としております。内容については、近隣市町村の情勢等を踏まえ検討いたします。

(8) 今後市内全域での開催を検討しておりますが、ボランティアの確保や、学童クラブと学校の距離が遠い場合がある等の課題があります。

会議録署名委員